

大津町の宝 町民の財産・未来を担う子ども達



大津小学校登校中
黄色のぼうしは1年生

表紙紹介（働く人シリーズ）

◆家族構成（6人家族）

父（忠勝66歳）・母（光子63歳）
本人（裕樹40歳）・妻（尚美36歳）
長男（7歳）・次男（4歳）

◆経営規模（人参2・5ha、甘藷2・5ha）

福岡、東京での会社勤務を経て、長男の小学校入学を期に、実家の農業へと転職し1年経過。「ようやく農作業にも慣れて、全体を見ながら作業を進めることが出来るようになりました」。5年後には

研修報告

議会広報編集特別委員会

日程 2月8日～9日

研修目的 議会広報の編集全般

多良木町

県議会広報コンクールで連続入賞。行間が広く読みやすいが字数は大津町の70%。一般質問のスペースが3/4ページで窮屈、予算が許せば一人1ページにしたいそうである。

子ども議会「議会報告会」を初めて開催されている。

えびの市

市議会では珍しく議員だけで編集している。

21年に事件があり議会解散後、議会基本条例を制定。

議会報告会を2日間4会場で開催。参加者は42名。各常任委員会別に議会審議の説明、懇談されたそうである。また議事録はホームページで公開されている。

現在の経営規模を倍にする事を目標に頑張るそうです。

転職して農業をする事に対して妻の尚美さんは「少しは不安はありましたが、自然豊かな大津町での子育て、家族皆で力を合わせ働き、生きていくスタイルを子ども達に感じさせながら生活できると思うと迷いはありませんでした。伸び伸びと育っている子ども達の笑顔を見る時転職して良かったと実感しております」との事でありました。

写真・文責 源川

編集後記

3月11日、未曾有の東日本大震災から二ヶ月たちました。原発で故郷を離れざるを得ない人々。だれもが胸をいため、一刻も早い救援、復興を望むところです。

心なしか最近熊本でも地震が多発しているように思われます。我町でも改めて防災対策、エネルギーの見直し求められます。

（荒木）

議会の様子を来て見て聞いてはいよ

今回は6月中旬予定です。

議会広報編集特別委員会

委員長 荒木 俊彦
副委員長 金田 俊二
委員 吉永 弘則
委員 源川 貞夫
委員 府内 隆博

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。